

令和6年5月2日
農林水産部

報道関係者各位

「環境モニタリングデータを活用した データ駆動型農業 導入の手引き」を作成

県では、令和3年度から令和5年度に、農林水産省の事業を活用し、村山地域と庄内地域のハウスきゅうり団地において栽培環境や作物の生育に関するデータを収集・分析し、栽培管理の改善に取り組む「データ駆動型農業」の実践体制づくりを進めてきました。

このたび、「データ駆動型農業」の取組みを県内に広めるため、3か年の事業実績をもとに「導入の手引き」を作成しましたので、周知に御協力くださるようお願いいたします。

1 「導入の手引き」の内容

環境モニタリングデータを取得し、個別の経営に活かす視点と、産地の維持・発展に活かす視点に分け、導入のポイントについて実証事例を加えて記載しました（別紙概要のとおり）。



2 発行者

やまがた方式次世代施設園芸推進協議会（事務局：山形県農林水産部園芸大国推進課）

3 その他

- ・各市町村、JA、各総合支庁農業技術普及課等、関係機関に配布しております。
- ・今後、県内の生産者を対象に、「導入の手引き」を活用した研修会を開催する予定です。

【問合せ先】

農林水産部園芸大国推進課

課長補佐 石山 新治 TEL：023-630-3380

【報道監】 農林水産部 次長 高橋 和博